

令和 5 年 4 月 12 日
第 675 回定例常議員会

『和歌山市の歩みと新たな挑戦』

和歌山市長 尾花正啓氏

【講演内容】

事務効率化などの行財政改革、国の補助制度の活用や民間との連携を通して、健全で効率的な財政運営を実施してきた結果、令和5年度は24年ぶりに赤字のない当初予算編成が実現した。

そして、今こそコロナ禍からの脱却と新たな出発として、和歌山市のポテンシャルを活かし魅力あふれる和歌山市の実現を目指す。

和歌山市の長年の課題のひとつが「若年者層の市外流出」であるが、“**県都として活力にあふれる**”魅力ある和歌山市を訴求し、“**ふるさとで学び働けるまち**”として、その抑制を図りたい。

まず、若年者層が“楽しい”と感じ希望を持つことのできるまちづくりに取り組む。昨年5月、和歌山城周辺において和歌祭四百年式年大祭を実施、また、今年2月には関西初となるTGC（東京ガールズコレクション）を実施し、和歌山市の魅力を和歌山市の皆さんと実感するとともに全国に発信することができた。また、今年5月には2023和歌山音楽大行進・子どもなかよしまつりとともに東京ディズニーリゾート®40周年スペシャルパレードが開催される。和歌山市の魅力が他市と比べ遜色がないということを実感していただけると思う。また、にぎわいと憩いの光を灯すまちなかづくりとして、現在、JR 和歌山駅周辺において実施しているイルミネーションをけやき大通り沿いに和歌山城まで延伸させる。夜の賑わいに繋がるイベント等も検討し、商店街の活性化やナイトタイムエコノミーを推進していく。

次いで、ふるさとで学ぶ環境づくりとして、これまでに専門性の高い5大学・6学科を誘致・開学させたが、今後も遊休公共施設等を活用した大学や専門学校の誘致をさらに推進していく。誘致5大学の在校生数は令和8年度には約2,200人になると見込まれており、若年者層が和歌山市内に滞留し賑わいが創出されと考えられる。また、誘致5大学の卒業生（令和4年度）の約9割が和歌山県内に就職しており、“働けるまち”としての取組も重要となってくる。

まず、地域を支える市内企業の成長を後押しするため、デジタルツールの導入や展示会等の開催、ビジネスチャンスの創出を支援する。また、企業の生産性を高め、従業員の所得向上に繋がるよう、設備投資に対する所得向上補助金を新たに創設、設備取得価格の5%を補助する（最大500万円）。さらに企業立地促進奨励金制度を活用

した IT 等オフィス系企業の和歌山市内への進出が増加傾向にあり、企業の進出意欲の高まりを感じている。コロナ禍において場所にこだわらない働き方が広がった今、企業誘致を強化する。

“稼げる観光”の推進として、インバウンドの獲得や魅力を活かしたツーリズムにも力を入れていく。今年、17万トン級大型クルーズ船「MSCベリッシマ」等が入港予定（計6回）であり、海の玄関口として県内観光のゲートウェイを目指す。和歌山市の場合、外国人旅行者10万人分の観光消費額は定住人口約2.8千人分の年間消費額と同等であり、インバウンドの獲得は重要といえる。また、和歌祭や和歌山ジャズマラソンなど和歌山市の魅力を活かしたツーリズムを推進、さらに宿泊施設等とも連携し旅行者の消費拡大促進も図りたい。

また、JR 和歌山駅周辺や南海和歌山市駅周辺の再開発や民間活力を活用した賑わいの創出により、活力あふれる県都を目指す。市堀川や和歌山城扇の芝の整備や緑の回廊を検討しており、さらなる魅力向上に努める。まちなかの賑わいを点から線へ、線から面へと広げ、各地域の持つ多様なポテンシャルを引き出し、オール和歌山市で発展していきたい。そこに必要不可欠となるのが各地域を結ぶ交通のネットワークであり、今後、地域バスやデマンドタクシー、AIデマンドバスなどを用いて公共交通の空白地域を解消する。

近年、子育て世代の転入が増加傾向にあり、転出と転入の差が縮まりつつある。そこで、“**子供たちがいきいきと育つまち**”として、積極的に子育て支援に取り組む。

妊娠届出時と出生届出後に各5万円の給付金を支給するとともに、妊娠期から出産・子育てまで切れ目ない伴走型相談支援も行い、経済的支援と相談支援を一体的に実施する。また、こども医療費無償化を令和5年8月より18歳到達年度末までに拡充する。加えて、保育体制の強化などによる待機児童の解消や保育環境を改善し、安全・安心な保育環境を更に充実させる。

心身の健やかな成長を応援する取組として、令和5年度は市立小学校給食費の無償化を実施、中学校や保育所等については物価高騰分を支援する。今後、中学校全員給食の早期実現、併せて給食費の無償化も目指す。さらに、オーガニック給食も推進しており、将来の全校実施に向けて小規模校から始めたいと考えている。

また、安全・安心なまちづくりとして、高齢者世帯等への防災ラジオの貸与や新たな防災マップの全戸配布など災害に対する備えや市街化区域（公共下水道事業）・市街化調整区域（国営農地防災事業）における浸水対策の推進を行い、命を守る対策を行う。また、市内全域の安定給水の確保のため、紀の川横断部の送水管複線化に着手、老朽化排水管の整備や耐震化を実施する。“**誰もが安心して暮らせる優しいまち**”として、和歌山市の皆さんがウェルビーイング※でいられるよう、様々なことに取り組んでいく。

※ウェルビーイングとは・・・身体健康状態が良好であるだけでなく、精神的かつ社会的にも、全てが満たされた状態の幸福を意味する。